

「超少子高齢化地域での先進的がん医療人育成」

〈これまでの取組〉

2期の北陸がんプロの成果

- 1) 本科生充足率138%の達成
- 2) 認定資格取得者139名の輩出
- 3) がんプロキャンサーボードTV会議（109回、194症例、6,337名参加）による
多施設・多職種連携の基盤構築

新たな医療人育成システムへの展開

本事業



〈背景〉〔北信地域の特徴〕

- 先駆的ながん・ゲノム医療関連施設
- 全国と比較し15年以上進んだ少子高齢化社会

金沢大・がん進展制御研究所
（全国唯一のがん共同研究拠点）
信州大・遺伝子診療部
（全国初：H7年に開設）

	生産人口(15-64歳)率			
	H17	H27	H37	H42
全国	65.8%	60.8%	58.7%	58.1%
北信	62.8%	57.0%	56.0%	55.6%

総務省統計局 統計データ（人口の推移と将来人口）

〈コース概要〉

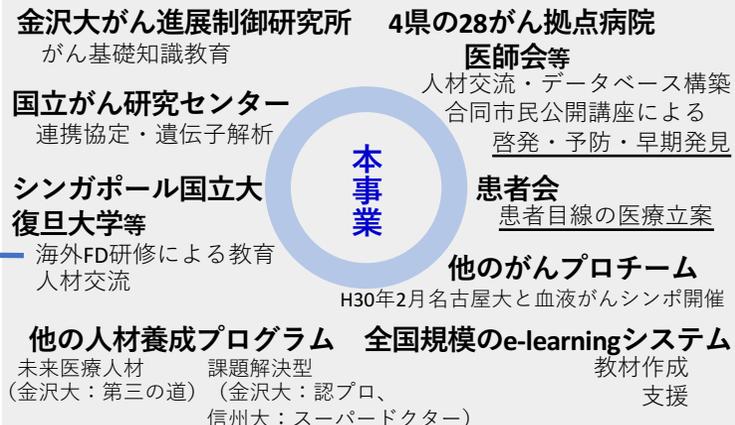
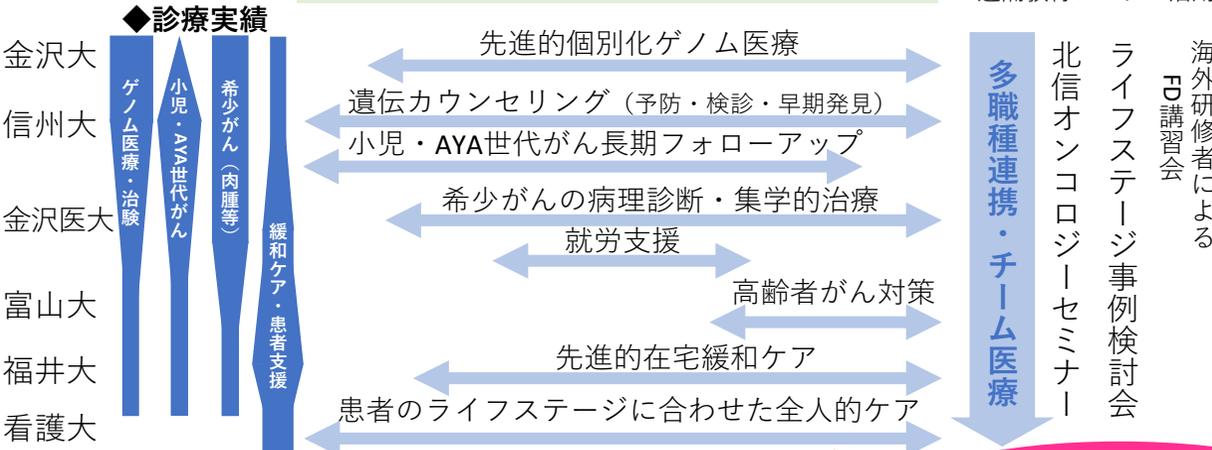
地域での症例や先進的がん医療の実態を把握し、戦略的がん医療人を育成するシステムを構築

学長連絡協議会

各校の学長による
事業の進捗管理

◆各大学の強みを生かした**相互補完的教育コース**＋多施設・多職種連携の演習
（本科10コース、インテンシブ9コース）

◆事業の連携体制



◆数値目標

- ・受入れ学生（本科91名、インテンシブ264名）
- ・北信オンコロジーセミナー（18回、6,500名）
- ・ライフステージ事例検討会（30回、4,500名）
- ・FD研修（海外各大学1回、FD講習会3回）
- ・国際シンポジウム（2回）
- ・合同市民公開講座（5回）
- ・地域医療機関との人材交流（3,000名）
- ・北信地域がんデータベース（7種以上）

特徴ある症例の地域がんデータベース構築

超少子高齢化地域で活躍する
先進的がん医療人

「将来の日本を映し出すデータベース」

大学院生による学会・英語論文発表

モチベーションを高め事業の求心力を保つ

社会に対する成果の発信・還元

⇒がん教育・予防・検診受診・早期発見・早期治療・早期社会復帰へ



予防からケア、啓発まで
「将来の日本の
がん医療人育成モデル」

- ・免疫チェックポイント
阻害薬使用症例
- ・小児長期フォローアップ症例
- ・在宅緩和ケア実施症例
- ・障がい者がん症例
- ・妊孕性保存症例 等